

蘇我支区廃止・検修合理化攻撃を 10・10への決起で粉碎しよう

各支部
の
闘
い

日刊 勤労千葉

84. 9. 27

No. 1752

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六）（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

10・10三里塚全国集会にむけ、3・25五割動員を上まわる決起を実現する取り組みが、全支部で闘いぬかれています。
幕張支部通信員からは、10・10へむけた職場集会の様子が伝えられ、また、本紙編集委員は、当局的蘇我支区廃止攻撃に燃えている蘇我支部を訪ね、組合員の気持を聞いてみた。
首切り「三本柱」、「60・3」ダイ改における基地廃止、改悪動乗制度の実施、台検廃止をはじめとする検修合理化攻撃に対し、10・10三里塚へ3・25を上まわる決起を実現しぬく力で打ち破る決意がひしひしと伝わってきた。
10・10へ総決起しよう。

蘇我機関支区廃止粉碎は、 10・10への決起なしにありえない ——蘇我支部を訪ねて——



本紙編集委員は、9月21日、10・10へむけた取り組みの取材のため、蘇我機関支区を訪ねた。国鉄当局が8月29日、全国百一基地廃止の一つとして蘇我機関支区の廃止を提案、全組合員が怒りに燃えて決起している支部である。

支部の命運をかけて闘う

乗務室には大塚支部長、孤田副支部長をはじめ6人の組合員が談笑していた。

組合掲示板には、幕我機関支区廃止攻撃に対する弾劾と絶対反対で闘う決意、具体的には第9回定期大会でかちとった「蘇我機関支区廃止反対決議」もとづき、まずは支部全組合員による署名運動を取り組む」との支部執行委員会名の掲示が貼

られている。

大塚支部長は「蘇我機関支区廃止攻撃を粉碎するには、10・10への決起なしにはありえないよ」と自信をもって答えてくれた。

そばにいた組合員のAさんは「自分は来月予定だから行けます」と語り、孤田副支部長は「ちゃんと出るようにがんばりますよ」といつて機関車へむかった。

蘇我支部は、基地廃止攻撃に命運をかけた闘いとして10・10を取り組んでいる。

10・10で怒り力を示そう ——幕張支部通信員・発——



幕張支部は9月21日、職場集会を70名の組合員の参加する中開催し、10・10総力決起から三本柱、60・3反合・国鉄決戦にむけ一丸となって奮闘することを決意しました。

10・10へむけて職場集会

集会には本部山口副委員長、林特執が出席され、激励と10・10の要請を行いました。

白井支部長は「退職勧奨など、年輩者への攻撃等々に怒りを結集し反撃しなければならぬ。10月10日は、勤労千葉の力を示すという一点をとらえても重要だし、全組合員の御協力をお願いします」と決意をこめて訴えられました。

私たちは、非常事態ともいえる状況のなかで、高令者の使いすてともいうべき非道な攻撃に対し怒りをあらたに組織の結束を固め、指令、指示はみんな貫徹する中から職場、組織の強化をはかってゆくことが確認されました。

白井支部長も強調したように、「指令を下しても集まらないようでは当局、敵になめられてしまふ。ここ一番がんばろう」という気持を全員が受けとめ、奮闘していきます。
10・10で怒り力を示そう。